

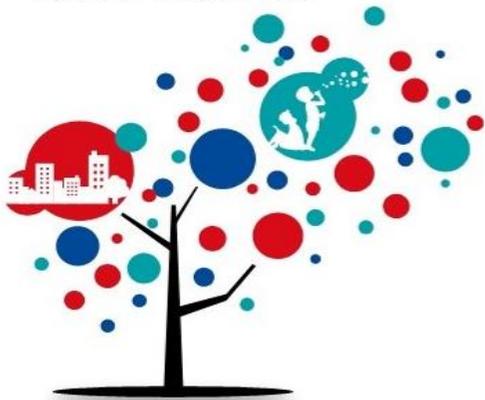
2020年3月期 第2四半期 決算説明会

2019年11月22日（金）

株式会社 浅沼組

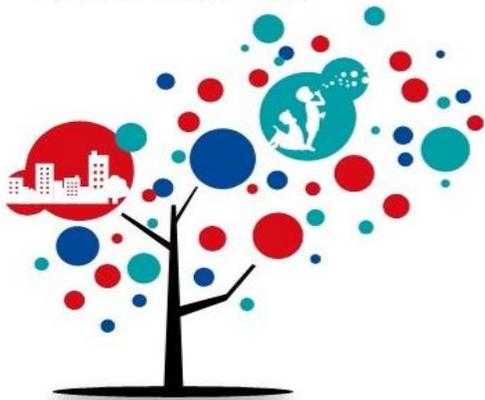
証券コード：1852

誇れる歴史がある
創りたい未来がある



この資料には、当社の業績予測並びに将来の見通しに関する記述がございます。
これらの記述は、現在入手可能な情報及び将来に影響を与える不確実な要因に係る仮定に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく記載と異なる結果になる可能性があります。

誇れる歴史がある
創りたい未来がある



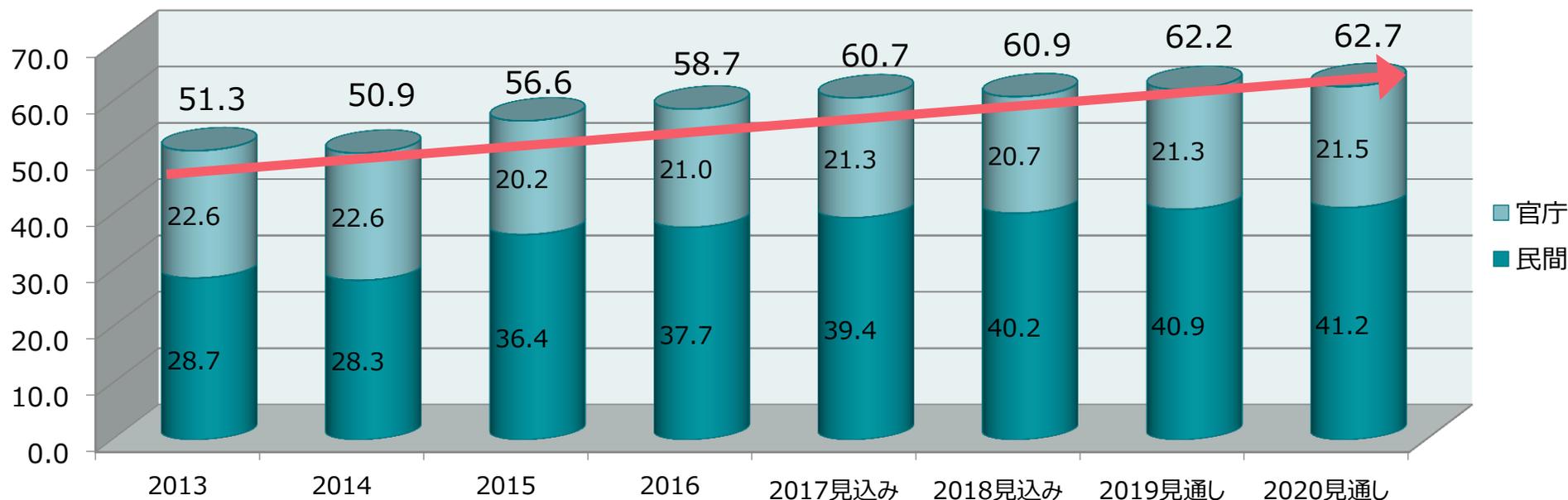
ページ	項目
P 3	取り巻く事業環境
P 4	トピックス
P 5～	2020年3月期 第2四半期決算 詳細
P 10	2020年3月期 業績予想
P 11～	中期3ヵ年計画 進捗状況
P 16	株主還元
P 17	社会貢献活動

建設業

海外経済の不透明感が一層高まっているものの個人消費の持ち直しや企業収益の改善に伴う設備投資等が増加し民間建設投資は底堅く推移しており、政府建設投資は経済対策及び関連予算の着実な実施が見込まれ、今後も堅調に推移していくことが見込まれています。ただし、貿易摩擦に伴う中国経済の減速による日本企業の設備投資の先送りや抑制など下押し要因には注意が必要です。

建設投資の推移

単位：兆円



(一財) 建設経済研究所より

浅沼組の最近のトピックスをご紹介します。

- 8/1 技術発表会を開催
- 10/16 開発中のAi-MAP SYSTEMがBIMCIM特集に取り上げられました。
- 10/30 作業所生産性向上策発表会を開催



技術発表会
浅沼組は1日、東京本店をメイン会場に全国7本支店をテレビ会議システムでつなぎ、2019年度技術発表会を開いた。全店で約280人の社員が参加した。全日本建設技術協会の大石久和会長が「インフラが切り開く未来 経済成長なくして財政再建なし」と題して特別講演したほか、社員投票と審査で選ばれた発表者が施工技術・開発に関するテーマで発表し、参加者と発表者は活発に質疑を交わした。

冒頭、あいさつに立った浅沼組社長は「浅沼組の社員として誇りをもって仕事をしたい。その誇りを支える大きな柱は技術へのこだわりだ。技術発表会は『浅沼組らしい技術へのこだわり』を共有し、誇りを確かめ合う場だと考えている。第12回となるこの技術発表会を通じて誇りとなる浅沼組らしい技術を育て、『浅沼組で良かった』と言ってもらえるような良いモノづくりをみんなが進めよう」と呼び掛けた。写真。

発表演題は次のとおり。
〈社長賞〉コンクリート床のひび割れ対策
〈優秀賞〉ジャッキアップ量を最小限にした免震装置交換工事
超高層物件における『雨仕舞い技術』への取り組み
VJS（上成）工法による床コンクリート押えの取り組み
V西名阪自動車道連続8日間通行止め3班体制による背面空洞注入の施工について。

2019/8/23付 日刊建設通信新聞

アイマップシステム 技能定量化し生産能力維持



浅沼組

青（左）にしえ から培われてきた勘やコツなどの熟練技能は、生産性向上対策の糧になるものとわが社では考えている。そこで、技能のアーカイブによる生産能力維持を目的とした、『アイマップシステム』の開発を進めている。技能を定量化するために、独自開発のヘルメットログや通信システムなどのセンシングツールと解析手法で、管理書や職工書の意思決定履歴、未熟者の教育訓練ツールおよび災害時の情報収集ツールとして汎用化を目指している。（田村 泰史/職歴事業推進部新技術事業化推進室課長）

2019/10/16付 日刊建設通信新聞

協働の成果披露
浅沼組が初の作業所生産性向上策表彰式
浅沼組は10月30日、「第1回協力会社様協働による作業所生産性向上策表彰式・発表会」を大阪本店（大阪市）で開いた。大阪本店のほか東京本店と東北・北海道・広島・九州・名古屋の5支店ともテレビ会議でつなぎ、計200人が参加した。

同社作業所で実践された生産性向上策の中から社員投票



社長賞表彰

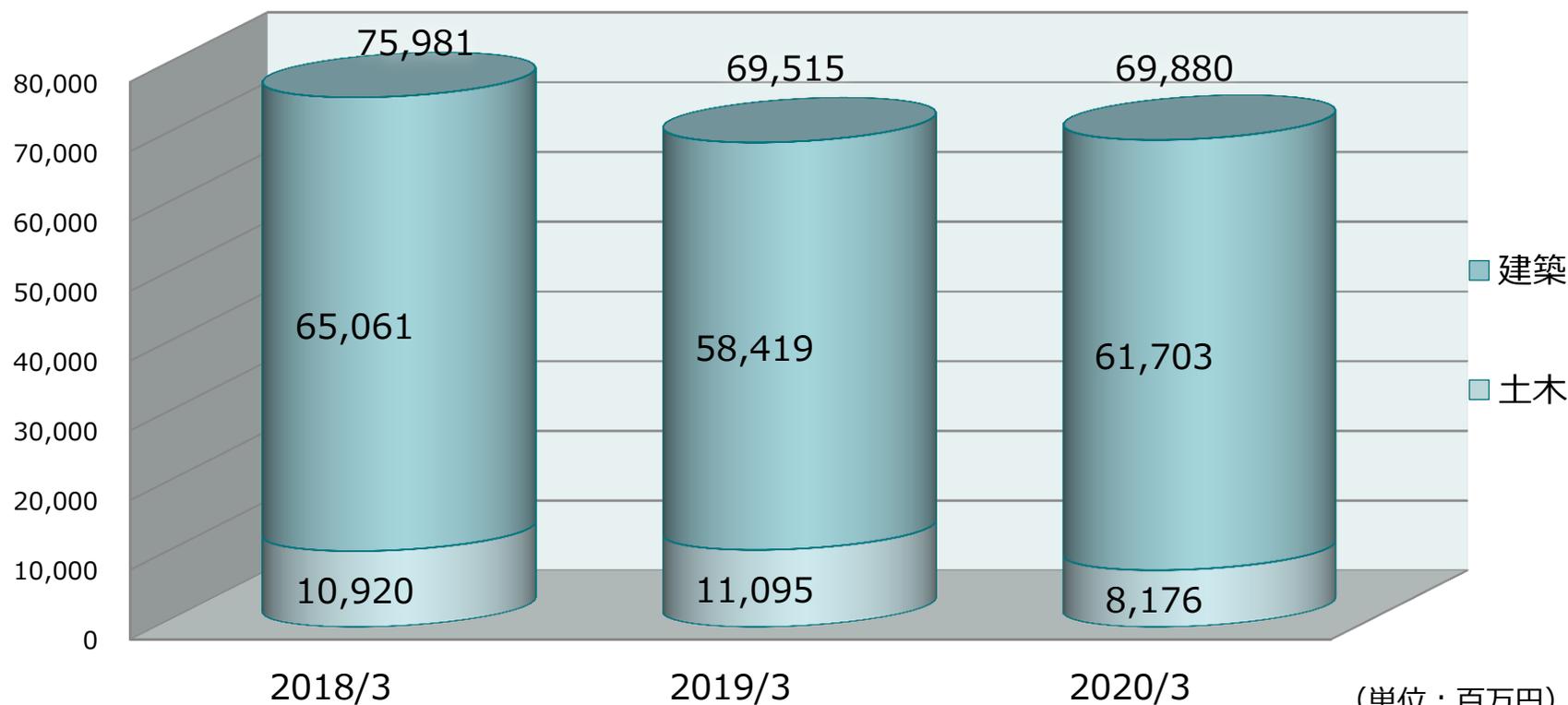
などの審査を経て選出された社長賞と優秀賞計4件が表彰を受けた。式に先立ち浅沼組社長は「作業所の生産性向上には、協力会社との協働による作業所独自のアイデアをもとに具現化した取り組みを情報収集し、水平展開することが有効だ。今回の発表内容に刺激を受けることで、ともに作業所で働く協力会社の皆さんと知恵を出し合い、さらに多くの生産性向上策が集まることを願っている」とあいさつした。

表彰式の後には受賞事例の発表も行われ、活発な質疑応答があった。4件の発表は次のとおり。
〈社長賞〉
▽梁型枠ユニット化による工期

短縮（仮称）天王寺区東高津町計画新築工事作業所と第五建設
〈優秀賞〉
▽既存支柱工法を活用することで梁底せき板を早期に解体できる理由から梁の型枠工事に鋼部のハリホルダーを使ってみた（仮称）タワー・ザ・ファースト名古屋扇栄作業所と吉重組
▽屋上駐車場防水袖さえコンクリートのワイヤメッシュ配筋にかわるバルチック採用による省力化・省力化（仮称）DPL川口領家新築工事作業所と飛田鉄筋工業
▽トンネル補修工事における3Dスキャナデータを用いた現状把握（西名阪自動車道田伏トンネル（上り線）他3トンネル背面空洞注入工事作業所とケー・エフ・シー）

2019/11/8付 日刊建設通信新聞

受注高 2018/3期～2020/3期 第2四半期



	2018/3 第2四半期	2019/3 第2四半期	2020/3 第2四半期	前期比
建築	65,061	58,419	61,703	3,284
土木	10,920	11,095	8,176	△2,919
計	75,981	69,515	69,880	364

2020/3期 第2四半期 主な受注工事

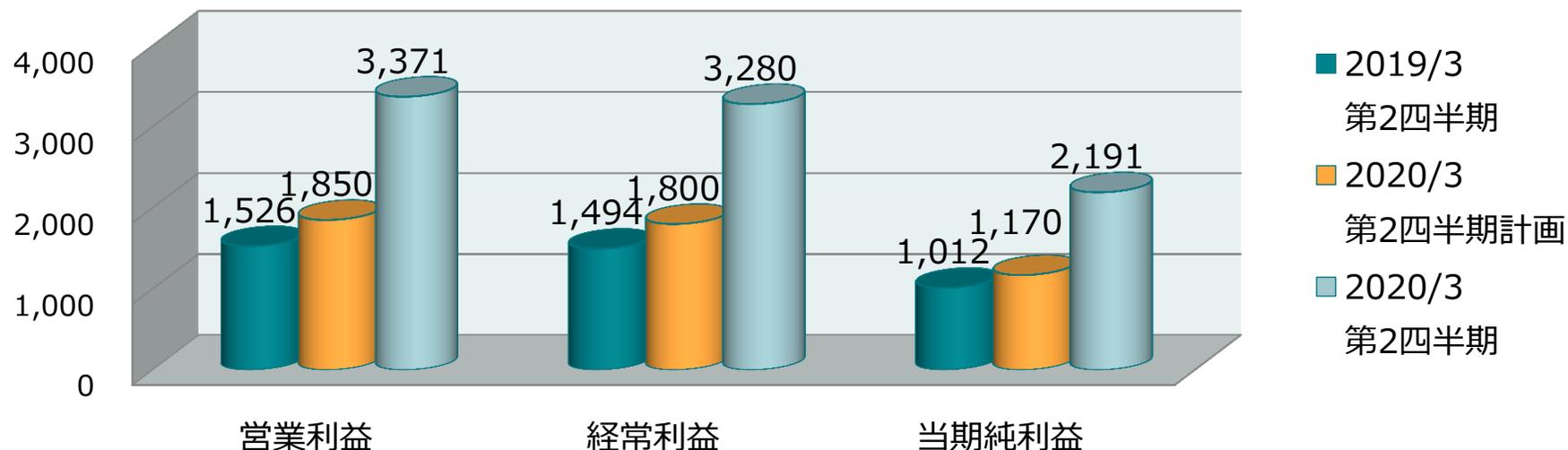


(単位：億円)

建士	発注者名	工事名称	請負金
建築	北鈴蘭台駅前再開発株式会社	北鈴蘭台駅前地区第一種市街地再開発事業施設建築物新築工事	40.0
	大和リース株式会社	B R A N C H博多パピヨンガーデン新築工事	30.7
	D M G森精機株式会社	伊賀事業所加工工場 4 期、5 期他改修工事	30.5
	独立行政法人都市再生機構	南青山アパート災害公営住宅建設工事	26.5
	大阪スバル株式会社	大阪スバル株式会社 本社・守口店新築工事	19.3
	奈良県奈良市	奈良市本庁舎耐震改修その他工事	19.1 (27.3)
	株式会社サンケイビル	大阪難波ホテル計画新築工事	15.9
土木	名古屋高速道路公社	令和元年度高速 1 号楠線床版等修繕工事 (楠工区)	18.4
	名古屋鉄道株式会社	名古屋本線等 知立駅付近連続立体交差事業に伴う本線土木 (その 8) 工事	9.8
	千葉県八千代市	上高野地区雨水排水整備工事	7.0

() 内JV総額

2020/3期 第2四半期 連結損益計算書



(単位：百万円)

	2019/3 第2四半期	2020/3 第2四半期 計画	2020/3 第2四半期	前期比	計画比
売上高	54,904	57,000	68,665	13,761	11,665
営業利益 (利益率)	1,526 2.8%	1,850 3.2%	3,371 4.9%	1,844 2.1P	1,521 1.7P
経常利益 (利益率)	1,494 2.7%	1,800 3.2%	3,280 4.8%	1,785 2.1P	1,480 1.6P
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (利益率)	1,012 1.8%	1,170 2.1%	2,191 3.2%	1,179 1.4P	1,021 1.1P

2020/3期 第2四半期 主な完成工事

(単位：億円)

建士	発注者名	工事名称	進行完成高
建築	大和ハウス工業株式会社 南海不動産株式会社 南海電気鉄道株式会社 オリックス不動産株式会社	滋賀県大津市春日町計画新築工事	21.4
	パナソニック ホームズ株式会社	パークナード代官山新築工事	20.1
	シモハナ物流株式会社	シモハナ物流株式会社岩槻センター新築工事	19.7
	東ソー物流株式会社	東ソー物流株式会社 物流センター新築工事	17.6
	東京都交通局	有明自動車営業所整備建築その他工事	12.3
	株式会社万代	万代新渋川センター新築工事	11.8
土木	西日本高速道路株式会社	舞鶴若狭自動車道 石原工事	12.9
	関東地方整備局	H30・31国道51号神宮橋架替鹿嶋側橋梁下部他工事	4.3

主な竣工工事



(彩都の丘学園)



(シモハナ物流(株) 高槻第2センター)



(阪和自動車道 和歌山南S I C)

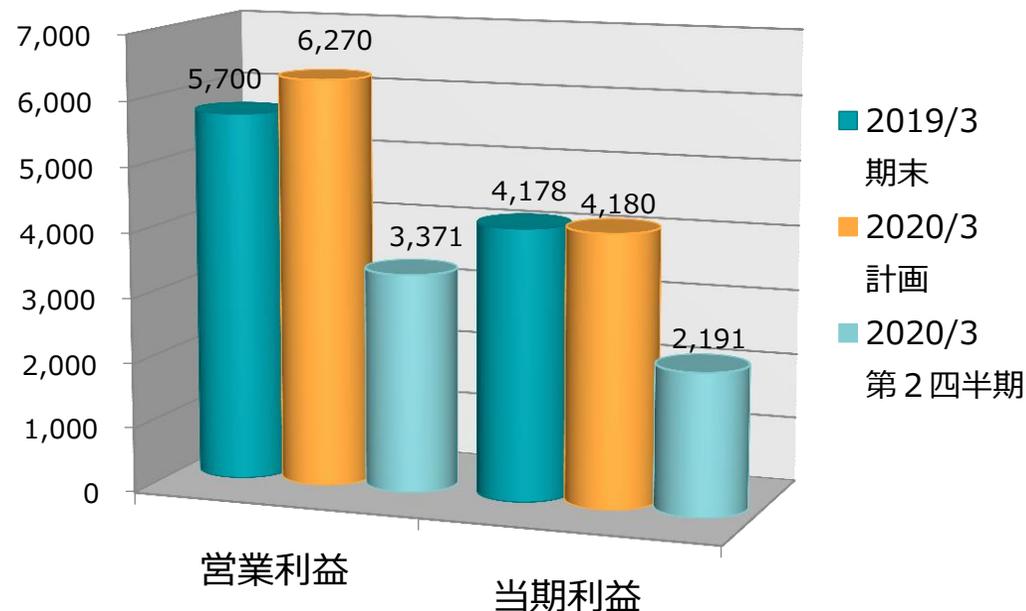
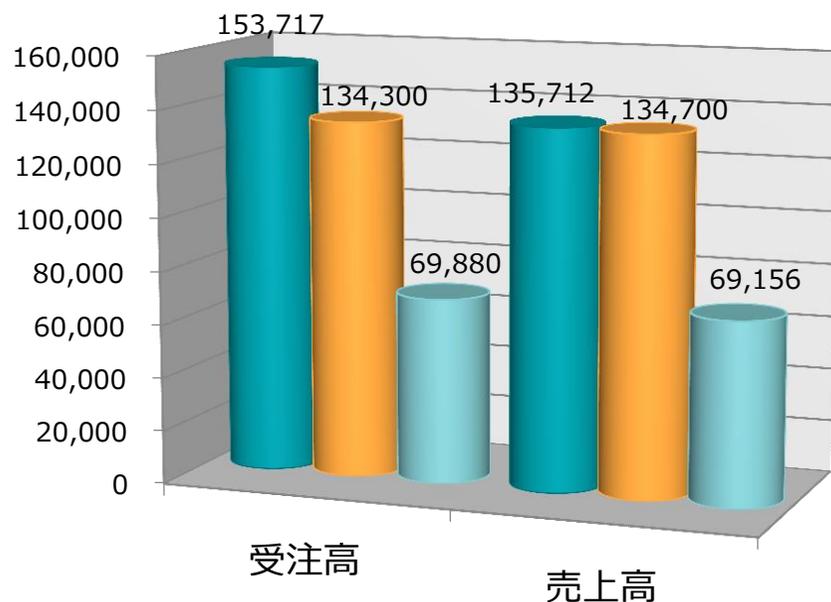
2020/3期 第2四半期 連結貸借対照表



(単位：百万円)

資産の部		2019/3 期末	2020/3 第2四半期	増減
流動資産		84,924	80,013	△4,911
固定資産		17,075	16,706	△369
	有形固定資産	5,333	5,151	△181
	無形固定資産	886	1,012	126
	投資その他の資産	10,855	10,541	△313
資産合計		102,000	96,719	△5,280
負債の部		2019/3 期末	2020/3 第2四半期	増減
流動負債		51,147	44,280	△6,866
固定負債		13,386	13,924	537
負債合計		64,533	58,204	△6,329
純資産の部		2019/3 期末	2020/3 第2四半期	増減
純資産合計		37,466	38,515	1,048

2020/3期 通期 業績予想



(単位：百万円)

	2019/3 期末	2020/3 計画	2020/3 第2四半期	進捗率
受注高	153,717	134,300	69,880	52.0%
売上高	135,713	134,700	68,665	51.0%
営業利益	5,700	6,270	3,371	53.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,178	4,180	2,191	52.4%

中期3カ年計画 進捗状況① (数値計画)



(単位：百万円)

	2019/3 中期計画	2019/3 実績	計画比	2020/3 中期計画	2020/3 計画	前期比	中計 計画比
営業利益率	3.8%	4.2%	0.4P	4.6%	4.7%	0.5P	0.1P
投下資本利益率 (ROIC)	7.0%	8.1%	1.1P	8.4%	8.4%	0.3P	—
自己資本利益率 (ROE)	9.0%	11.5%	2.5P	10.6%	10.6%	△0.9P	—
自己資本比率	36.0%	36.6%	0.6P	41.0%	41.0%	4.4P	—
資本コスト (WACC)	5.0%	5.1%	0.1P	5.0%	5.1%	—	0.1P

建設事業における収益力・競争力のさらなる強化

協力会社との協働による生産性向上

- 協力会社協働による作業所生産性向上策 表彰式・発表会を開催
広く募集した作業所における生産性の向上策の中から、社員投票及び審査によって選考

社長賞

- ・「梁型枠ユニット化による工期短縮」

優秀賞

- ・「残存支柱工法を活用することで梁底せき板を早期に解体できる理由から梁の型枠工事に岡部のハリホルダーを使ってみた」
- ・「屋上駐車場防水押さえコンクリートのワイヤーメッシュ配筋にかわるバルチップ採用による省人化・省力化」
- ・「トンネル補修工事における3Dスキャナーデータを用いた現状把握」



社長賞の発表の様子

リニューアル強化

- リニューアルブランディング計画

ブランディングにより
浅沼組のリニューアル事業の差別化、強化、深化を推進

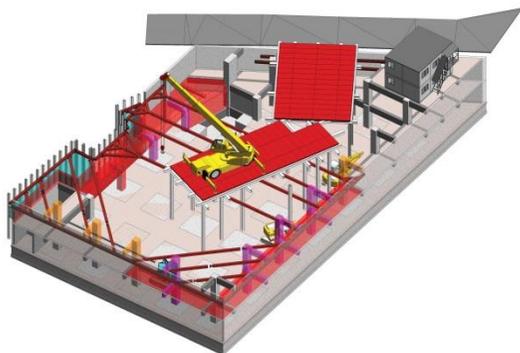


「○○といえば浅沼組のリニューアル事業ブランド」
として市場認知を獲得し、事業機会の創出につなげる

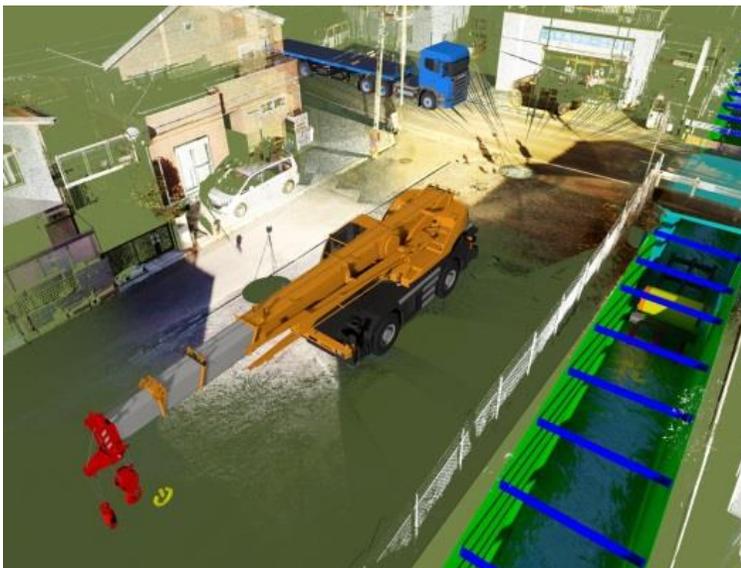
建設事業における収益力・競争力のさらなる強化

ICT活用による生産性向上

- BIM・CIMをはじめとするICTの試行開始、設計施工案件などへの積極活用



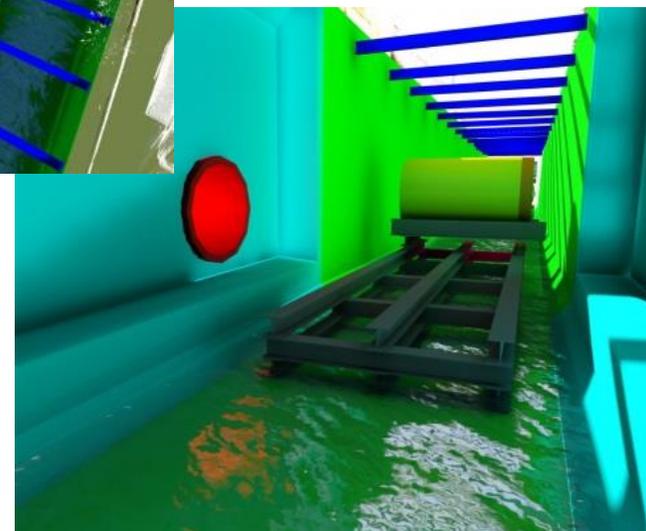
施工計画



VRモデルによる施工シミュレーション



3Dスキャナー計測点群データ



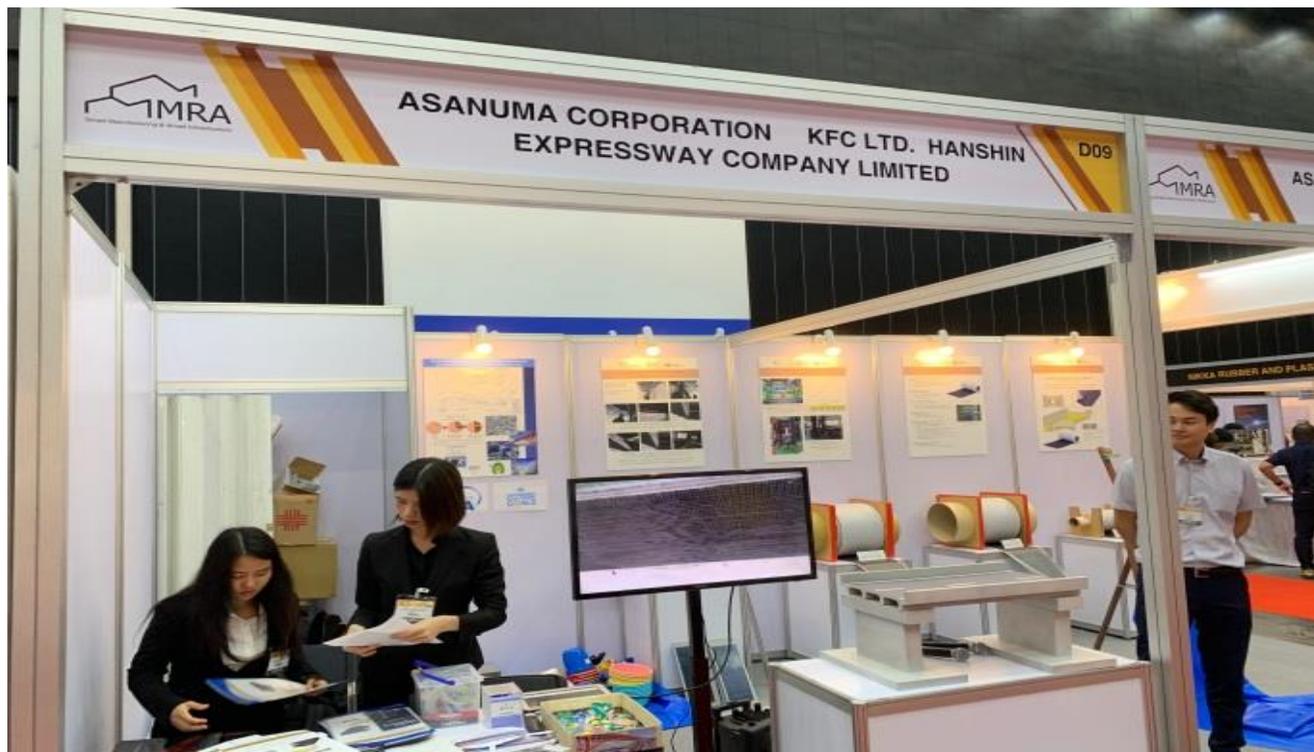
新技術・新事業への挑戦

新技術・工法への積極的な取り組み推進

○特殊積層繊維シートの実用化

阪神高速道路(株)・(株)ケー・エフ・シー 共同開発

タイ王国のバンコクに於いて開催されました [メンテナンス&レジリエンス アジア 2019] に出展



このJICAの事業は、SDGsのゴール9に当てはまり、
強靱なインフラ構築、包括的かつ
持続可能な産業化の促進
及びイノベーションの推進に貢献しています。



持続的成長に資する経営基盤の確立

コーポレート・ガバナンスのさらなる強化

○取締役会の実効性の分析 及び評価	・第3者機関にて実施（2019年）
○社外取締役の増員 （2019年6月より）	・女性の社外取締役を1名増員（指名・報酬委員会の委員に任命） 取締役総数に占める社外取締役の比率 25.0% → 37.5%
○指名・報酬委員会の 適切な運営	・代表取締役の選任解任基準の明確化 ・開催日数の増加（2018年度 7回、2019年度 6回 10月末現在） ・社外取締役比率 50.0% → 60.0%
○IRの強化	・株主総会における議決権電子行使システム導入（2019年6月総会より） ・英文の開示情報を充実 ・個人投資家向け説明会開催予定（2020年2月）

資金投入計画について

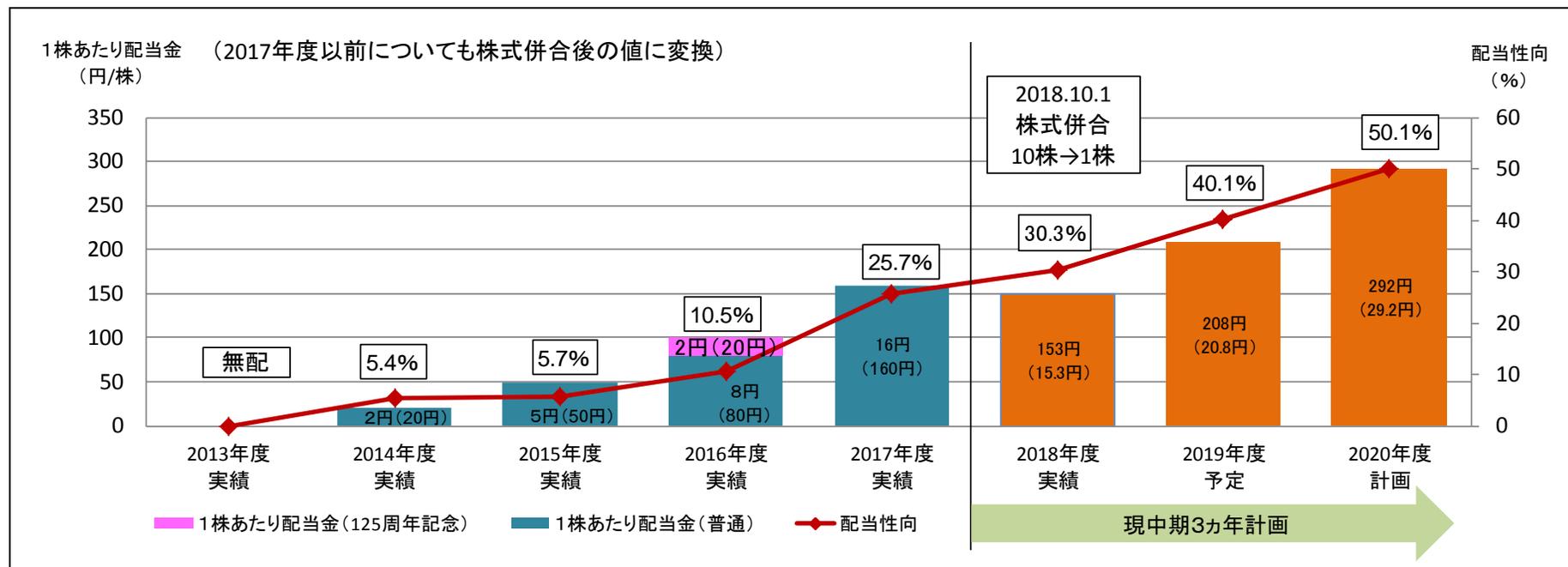
協力会社との連携強化を目的とした支払いの現金化

○現金比率向上	・2018年8月支払い分より手形発行金額の下限を5,000万円以上に 引き上げ、現金支払い比率を拡大 ・ 2020年1月支払いより全額現金支払いへ
---------	----------------------------------------------------------------------------------------

中期3カ年計画の最終年度の計画値としていた【連結配当性向30%以上】を初年度に前倒し、更に最終年度には50%以上を目指す計画に修正。

連結配当性向は原則として以下を目指します。

2018年度計画	2019年度計画	2020年度計画
30%以上	40%以上	50%以上



浅沼組 社会貢献基本方針

私たちは、社会の一員として社会のあるべきかたちの実現のため、社員一人一人が社会的責任を自覚し、積極的に社会貢献活動を推進していきます。

2019年4月以降の協賛団体の活動報告

日本身体障害者野球連盟
全国大会 5/19・20
始球式の様子



日本ブラインドテニス連盟
スペイン国際大会 6/9

大野選手
B1クラス男子の部優勝
大会MVP

ならどっとFM 番組
「岡本彰夫の奈良 奥の奥」
公開収録の様子 4/7

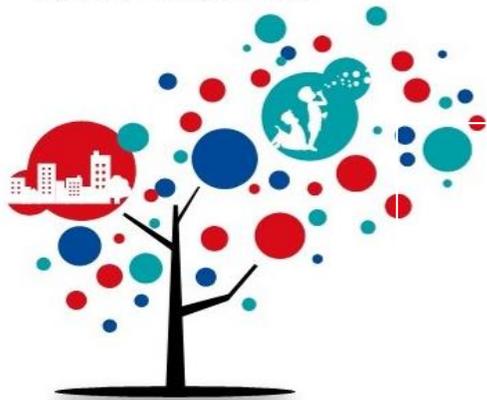




株式会社 浅沼組

2019年11月22日（金）

誇れる歴史がある
創りたい未来がある



お問合せ先

コーポレート・コミュニケーション部

T e l 06-6585-5500 F a x 06-6585-5556